

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【熊本県】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	山鹿市立山鹿中学校 全校生徒（689名） 1年226名、2年228名、3年235名
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 保健体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	全校生徒が講話を聞くことで、自分の将来に夢や目標を持ち、自己実現にむけて挑戦し続けるようとする態度を育てる。また、山中スピリッツ「あきらめない 絶対に あきらめない！」への意識を高める。
5 取組内容	（1）事前学習 ○東京 2020 のイメージ映像を見たり、オリパラクイズを出したりして興味・関心を高める活動を取り入れた。また、来年度の大河ドラマの主演である「日本初のオリンピック金栗四三さん」に関するクイズや情報を、スライド資料を活用しながら説明した。 後半は、講演に来てくださった江里口さんのこれまでの実績等を、写真や映像を通して紹介し、翌日の講演会への意欲を高めた。 （2）オリンピックによる実技指導・講演会 ○実技指導では、体育委員の生徒に対して、体の動き作りを中心としたトレーニングを、助言を交えながら紹介していただいた。じゝ際にハードルをジャンプしたり部活動の新旧キャプテンと50m走を一緒に走っていただいたりと、交流を交えながらの活動となった。 ○講演会では「陸上競技を通して学んだ事」をテーマに、信念を持って取り組むこと・考えることの大切さを自らの経験をもとに具体的に話していただいた。
6 主な成果	○実技指導 オリンピックから直接指導していただいたことや、実際に跳んだり走ったりされる姿を見ることにより、体を動かす事への興味や関心を高められたように思う。生徒の感想の中にも、驚きや喜びの声が多くあった。

	<p>○講演</p> <p>「考えることの大切さ」を自らの性格や経験をもとに話していただいたことで、生徒達も「自分ならどうすればいいのか」といったことを、自分と置き換えながら考える機会となった。常に探究心を大切にしながら練習することや、考えるクセを生活ともつなげていくことが自分の生き方にも関係してくることを伝えていただいた。いかにして自己実現を果たしていけばいいのか、高校進路決定の重要な時期における3年生にとっても、進路実現を目指すために必要な心について、しっかりと考えることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>オリンピックである江里口氏は、山鹿市と隣接する菊池市出身、本校の一番身近な高校の一つである鹿本高校出身ということで、子ども達が抱く期待感や親近感、興味・関心等を高めることができた。</p> <p>事前学習においても陸上競技をテーマ(金栗四三さん)にし、つながりを持たせた指導を心がけた。</p> <p>実技指導では、少しでも多くの生徒が江里口氏とふれ合うことができたという思いから、体育委員(36名)と部活動の新旧キャプテン(約20名)と一緒に動いていただくことを提案した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>実技指導の際に、代表生徒のみの動きとなったため、周りで見ている生徒の活動を増やせる工夫が必要であった。指令台に立っていただき、ワイヤレスマイク等と使いながら実技指導をしていただく形をとれば、たくさんの生徒が実際に動きながら活動ができたように思う。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>来年はラグビーのワールドカップやハンドボールの世界選手権が熊本で行われるため、関連づけた学習の場を設けたり、長期休業期間を利用して「ラグビーワールドカップ新聞」等を作成したりしながら、世界大会とオリンピック・パラリンピックをつなげる教育活動を行っていく予定。</p>